# アジアの高齢者ケアと外国人介護人材の育成

経営情報学科　天野（あまの） ゆかり

● 連　絡　先　　TEL：054-264-5421

キーワード　介護人材，アジア，高齢者ケア，介護留学生，経済連携協定，技能実習，特定技能

急速な人口の高齢化に伴う医療・介護人材、高齢者の健康増進やケアの質の確保は世界規模の喫緊課題である。日本政府は、アジアにおいて、急速に進む高齢化に対応したUniversal Health Coverage(UHC)と健康長寿社会を実現するため、「アジア健康構想」を立ち上げた。特に介護人材確保の課題においては、日本国内の対応にとどまらず、介護事業と人材の好循環をはかり、アジアの高齢化と介護システムの開発に貢献するという役割を担っている。本研究では、高齢化と介護人材のグローバル化が進展する中、国内外の関係機関の調査を通し、アジア各国における高齢者ケアの特徴を明らかにし、介護人材の育成と確保の持続可能性について検討している。

写真１　ベトナムの看護大学との交流

写真２　中国の行政関係者等との意見交換

**アピールポイント**　高齢者ケアに関する人材確保と育成については、日本だけでなくアジアでも注目度の高いテーマとなっています。